

# 農村女性による起業活動実態調査結果

調査実施主体：宮城県  
 調査時点：令和2年3月31日現在  
 調査方法：農業改良普及センターが各経営体に対して書面、聞き取り等による調査を実施

農村女性による起業活動とは、農村等に在住している女性を中心となっていく、地域産物を利用した農林漁業関連の女性の収入につながる経済活動（無償ボランティアは除く）であり、女性が主たる経営を担っている個別またはグループの経営形態であるものを言います。

## 1 宮城県の女性起業数

令和元年度現在の起業数は350戸、このうち年間売上500万円以上の女性起業数は89戸となりました。

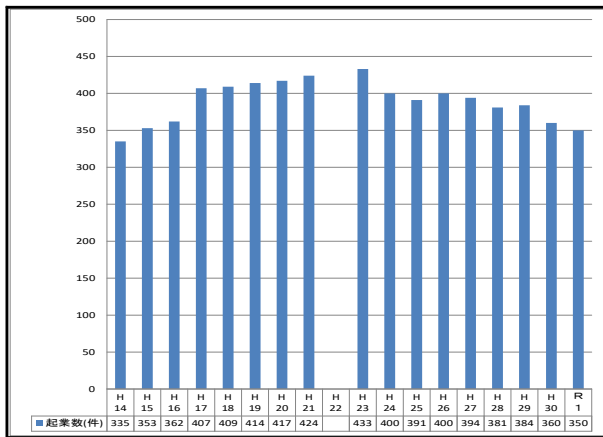


図1 宮城県の女性起業数の推移  
 (平成22年度は震災のため調査なし)

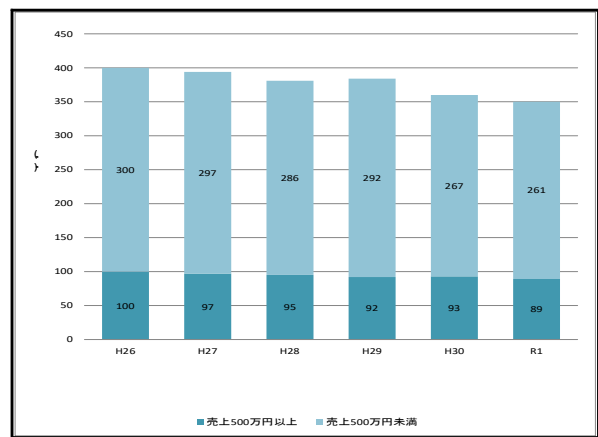


図2 売上500万円以上の女性起業数

### 《参考》

農林水産省による平成28年度都道府県別女性起業数調査において、宮城県は全国4位、東北では岩手県に次いで2位となっています。

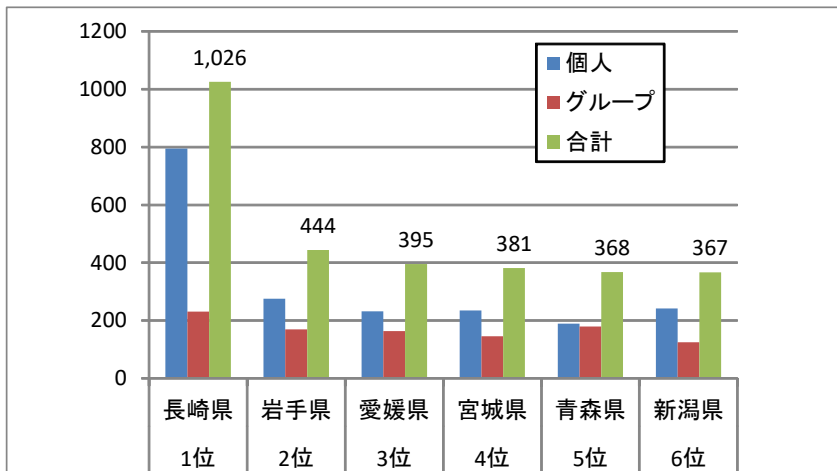


図3 女性起業数上位県 (出展：平成28年度都道府県別女性起業数調査 (農林水産省))

※農林水産省による起業活動実態調査は平成28年度調査で終了しました。

## 2 女性起業の詳細について

- (1) 起業数350件のうち、個人が59.7%と過半を占めています。また、法人数については全体の6%となっています。(表1)
- (2) 活動内容では農産物直売所での販売や、農産加工などの取組が多くなっています。(表2)
- (3) 売り上げについては年間300円未満の経営体が過半を占める一方、1,000万円以上の経営体も約一割強となっています。(表3)
- (4) 構成員の平均年齢が60歳以上の経営体が約7割を占めることから、後継者の確保・育成が課題となっています。(表4)

表1 起業数に占める個人・グループ・法人割合

	起業数(件)		全起業数に占める割合(%)	
		内, 法人数(件)		内, 法人(%)
個人経営	209	11	59.7	3.1
グループ経営	141	10	40.3	2.9
計	350	21	100.0	6.0

表2 主な経営内容(複数回答)(対実数(350件)比)

区分	件数(件)	割合(%)
直接販売(直売所・WEB販売等)	295	84.3
食品加工	256	73.1
農業生産	138	39.4
都市との交流(農家レストラン・民宿, 体験農園等)	83	23.7
その他	27	7.7
食品以外の加工	19	5.4

表3 年間の販売金額

区分	R1		参考: H30	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
300万円未満	177	50.6	181	50.3
300万円以上~500万円未満	34	9.7	29	8.1
500万円以上~1千万円未満	46	13.1	48	13.3
1千万円以上	43	12.3	45	12.5
不明・非公開	50	14.3	57	15.8
計	350	100.0	360	100.0

表4 構成員の平均年齢

区分	R1		参考: H30	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
40歳未満	15	4.3	10	2.8
40~49歳	14	4.0	14	3.9
50~59歳	38	10.9	37	10.3
60~69歳	136	38.9	150	41.7
70歳以上	106	30.3	94	26.1
不明・非公開	41	11.7	55	15.3
計	350	100.0	360	100.0